

シラバス 社会科

教科名	第1学年 社会科（地理的・歴史的分野）	担当者	中山 優美
-----	---------------------	-----	-------

【 学習到達目標 】

【地理的分野】

- ・世界の諸地域について関心を持ち、知識を深める。また、グラフや地図から情報を読み取ることができるようにする。

【歴史的分野】

- ・歴史上の人物や出来事に関心を持ち、各時代の特徴を理解する。また、我が国と諸外国とのかかわりの歴史を知り、他国・他民族の歴史・文化を知る。

【 学習方法やポイント 】

- ・授業に集中して取り組み、しっかりとノートを書きましょう。
- ・図や年表、グラフなどの資料の読み方を覚え、その資料から何がわかるかを普段から考える習慣をつけましょう。

【 年間学習計画表 】

学期	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
1 学期	【地理的分野】 第1編 「世界と日本の姿」	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の姿 ・日本の姿 	<ul style="list-style-type: none"> ・6つの大陸や3つの大洋が地球上にどのように分布し、世界を6つの州に区別されていることを理解する。 ・日本の国土の位置、世界各地との時差、領域の範囲や変化とその特色などを基に、日本の地域構成を理解する。
	第2編 「世界のさまざまな地域」	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活と環境 ・世界の諸地域 ・アジア州 ・ヨーロッパ州 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活から、それぞれの地域においてどのような気候の違いが見られるかを理解する。 ・ユーラシア大陸の広い範囲を占めるアジア州では、どのような特色がみられるか理解する。 ・季節風の影響で地域により農業の特色があることを判断する。 ・ヨーロッパ州の特色を理解する。 ・地図や統計資料から、自然や産業の特色を読み取る。
2 学期		<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州 ・北アメリカ州 ・南アメリカ州 	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ州の特色を理解する。 ・モノカルチャー経済やヨーロッパとの関係に着目しながら、アフリカの地域的特色に関心を持つ。 ・北アメリカ州の特色を理解する。 ・広大な熱帯林や世界最長の山脈がある南アメリカ州の特色を理解する。

	<p>○歴史的分野 第1章「歴史のとらえ方と調べ方」</p> <p>第2章「古代までの日本」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・オセアニア州 ・歴史をとらえる見方・考え方 ・世界の古代文明と宗教のおこり 	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリア大陸と太平洋の島々からなるオセアニア州の特色を理解する。 ・日本で起こった長い歴史はつながって起こっていることや、それを分けるための時代区分を理解する。 ・環境の変化とともに、人類はどのような変化をしてきたのかを理解する。 ・文明はどのような地域で誕生し、またその地域ではどのようなものが生まれたのかを理解する。
<p>3 学 期</p>	<p>第3章「中世の日本」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島の誕生と大陸の交流 ・古代国家の歩みと東アジア ・武士の政権の成立 ・ユーラシアの動きと武士の政治の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代から弥生時代にかけて、人々の生活はどう変化したのかを理解する。 ・中国や朝鮮半島との交流から、古代国家がどのような影響を受けたのかを理解する。 ・蘇我氏や聖徳太子は、どのような国をつくろうとしたのかを理解する。 ・奈良時代にはどのような国家の仕組みがつくられ、どのような文化が展開したかを理解する。 ・平安京に都を移したのち、政治のしくみはどのように変化したのかを理解する。 ・平安時代にはどのような特色をもった文化が展開したかを理解する。 ・武士はどのようにして現れ、またどのように成長していったのかを理解する。 ・蒙古襲来はどのような戦いで、幕府と御家人の関係にどのような影響を与えたのかを理解する。

【評価について】

社会科では、以下の3つの観点に基づき、生徒のみなさんの学習のようすを総合的に評価します。

- 知識・技能
定期テスト、小テスト、提出物
- 思考・判断・表現
定期テスト、小テスト、提出物
- 主体的に学習に取り組む態度
定期テスト、提出物、日頃の授業への取り組み方レポート、発表、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目